

令和5年度農福連携マッチングモデル事業業務委託仕様書

- ・この仕様書は企画提案書作成用である。
- ・企画提案競技後、埼玉県は委託候補者と協議を行い、協議が整った場合は仕様書を委託候補者の企画提案内容に合わせ修正の上、契約を締結する。

1 委託業務名

令和5年度農福連携マッチングモデル事業業務委託

2 委託期間

契約締結日から令和6年3月29日まで

3 目的

農家や農業法人（以下「農家等」という。）と障害者就労施設をマッチングすることにより、農家等の人手不足を解消するとともに、障害者就労施設の施設外就労の機会拡大を促進することで、工賃向上を図ることを目的とする。

4 農福連携マッチングモデル事業の概要

(1) 実施時期

令和6年1月～3月

(2) 事業参加対象者

- ア 障害者就労施設へ作業を依頼する希望のある農家等
- イ 施設外就労として農業を希望する就労継続支援B型事業所

(3) 実施件数等

上記（1）事業参加対象者ア、イの組み合わせを2組以上に対し、以下の実施。

- ア 依頼された作業が完遂できるよう、受託施設を対象とした事前研修
- イ 作業を依頼する希望のある農家等の農地での実践研修（1組につき2日以上）

(4) 事業実施場所

埼玉県全域

5 業務委託の内容

(1) マッチング業務

- ア 障害者就労施設へ作業を依頼する農家等の開拓・確保をすること。
- イ 農家等が求める作業内容を聴取した上で、実践研修の作業実施スケジュール、作業報酬等を調整すること。
- ウ 県内の障害者就労施設の中から、作業内容に適した施設を選定すること。
なお、募集は県が行い、応募多数の場合は県が候補の絞り込みを行う。

エ 研修終了後、農家等と施設とが継続的に受委託を行えるよう契約を仲介すること。契約に当たっては、参考となる契約書様式等を示すこと。

(2) 指導業務

①事前研修

ア 依頼された作業が完遂できるよう、施設を対象とした事前研修を計画すること。また、計画に従い、施設に対し事前研修を実施すること。

イ 事前研修の際は、作業未経験者や障害者にも理解しやすいよう、教材や道具を工夫すること。事前研修の内容については、マッチング予定の農家等の了解を得ること。

ウ 策定した事前研修計画は、研修実施前に県に提出し、承認を得ること。

②実践研修

ア 施設の作業初日には当該作業に立ち会い、指導を行うこと。

イ 施設及び農家等からの電話相談等に随時対応し、農地での実践研修が確実に実施されるよう助言を行うこと。

ウ 必要に応じて、施設及び農家等と調整し、作業内容を見直すとともに、作業に合った指導を行うこと。

6 業務従事者及びスケジュール

本委託業務に従事する者について、業務管理、関係者との連絡調整など業務従事体制とそれぞれの役割、スケジュールを明確にし、事前に県に報告すること。

7 委託業務実施にあたっての留意事項

詳細は、委託契約に定めるものとする。

- (1) 農業技術指導に精通した職員を担当者として配置すること。
- (2) 事故が起こらないよう安全に十分配慮すること。また、マッチング業務における受託施設の選定の際には、受託施設の保険加入の有無などを確認すること。
- (3) 事故が発生した場合は、直ちに県に報告すること。
- (4) 受託者は、本業務の実施に当たり、関係法令、条例及び規則等を十分に順守すること。
- (5) 本事業は、施設外就労の拡大により障害者就労施設の工賃向上に資することを目的としているため、企業の障害者雇用の代行を促進することのないよう留意すること。
- (6) 本仕様書に定めるもののほかに疑義が生じた場合は、その都度県と協議して決定する。
- (7) 本仕様書に定めるもののほか、受託者の企画提案書に記載されている事項についても、適切に履行すること。